

## 第48回

## 寿地区文化祭開催！

11月2日(日)に開催されました。オープニングセレモニーは実行委員長の挨拶があり、寿小学校4年生によるダンス発表で盛り上がり、始まりました。



屋外での団体出店には多くの人が並び、文化祭を賑やかにしてくれました。



寿体育館内の作品展示スペースには、絵や写真、盆栽など多種多様な作品が並び、来場者の方がしっかりと足を止めて見ている姿がありました。



同じく体育館内でのステージ発表は、地域の団体や公民館利用団体が歌やダンス、楽器演奏を行い、多くの方々に観ていただきました。



グランドフィナーレでは、『※鉢伏ウィンドアンサンブル』の演奏に合わせて『ふるさと』を大合唱し、文化祭は閉幕となりました。今回は1500人を超える方にご参加、ご来場いただきました。これからも地域のお祭りを皆さんで盛り上げていきましょう。【寿地区文化祭実行委員長 伊勢 文雄】

※部活動地域移行に伴い結成された、筑摩野中学校、明善中学校、才教学園中学校の合同クラブの名称



世帯数 6,182戸  
人口 13,444人  
(令和8.1.1現在)



# わがまちへ下瀬里町会

町内にはパワフルな方が大勢いらつしやいますが、今回は民生委員も務められた「柳 喜美子」さんをご紹介します。

柳さんは編み物が得意で、これまでに数々の作品を寿地区文化祭などに出品されたり、福祉ひろばで編み物講座を開催したり、寿小学校では子供達に編み物も教えていらつしやいます。今回、編み物を始めるきっかけについてお聞きしました。

Q..いつ頃から編み物を始められたのですか？

A..小学校3年生の時です。母の残してくれた毛糸をもらつて編み始めました。学校に座布団カバーを作つて持つて行つたら、先生にとっても褒められて「本当にきみちゃんがつつたの？」と驚かれたのを覚えています。あの時に褒めてもらえた事が、きっかけになったと思います。

Q..素敵な人形もたくさん作つていらつしやるとか。

A..はい。前橋に住んでいた頃、人形教室に通つて学びました。大変ですが楽しいですよ。

Q..編み物講座は、どのようなきっかけで始められたのですか？



【館報編集委員 北澤 勝】

A..民生委員の活動がご縁で福祉ひろばの方からお声かけ頂きました。

Q..寿小学校でも教えていらつしやるそうですね。

A..はい。クラブ活動の時間に、4〜6年生の子供達に編み物を教えています。編み物の楽しさを感じてもらい、将来の個性として活かしてもらえたら嬉しいですよ。

Q..民生委員を9年間務められ、今回ご退任と伺いましたが振り返つていかがですか？

A..民生委員として多くの方々と出会い、繋がりを重ねる中で、自分の特技を地域に生かす機会をいただきました。大変なこともありましたが、そのすべてが今の私の原動力になっています。

柳さんありがとうございました。柳さんの作品のいくつかは寿地区福祉ひろばでもご覧いただけます。

## 令和8年 寿地区新年祝賀会

1月5日(月)に新年祝賀会が開かれました。例年は寿公民館正面玄関前に行つてゐる集合写真撮影ですが、今回は強風のため寿体育館内で行いました。屋内で少しばかり寒さが和らいだためか、例年よりも柔らかな表情の集合写真となりました。

祝賀会は、寿地区町会連合会長の新年の挨拶から始まり、臥雲義尚松本市長からの祝いの言葉(代読)、今井ゆうすけ議員、塩原孝子議員、上條一正議員のそれぞれ市議会議員および下条みつ衆議院議員からのご挨拶をいただきました。



した。今年は午年、寿地区の皆様にとつて健康で飛躍の年となりますよう、ご祈念申し上げます。

【寿公民館長

久保田 文章】

## 小池町会 正月飾りづくり講座

小池町会では、毎年12月に正月飾りづくり講座を開催しています。出来るだけ多くの方に体験していただくため2日間行つてゐます。1日目は子どもさんを対象に月1回開催している「子ども広場」で、2日目は親子などを対象に育成会が主催して行いました。



材料の用意や指導は町会の2人の講師にお願いし、まず講師の方から正月飾りの意味や種類についての説明があり、その後実演が行われました。そして指導を受けながら参加者が実際に正月飾りづくりを行いました。

1日目は30名の子どもと支援の松本大学学生10人が参加して主に「輪じめ」を作り、2日目は33人が参加し、「ごぼ

う締め」と呼ばれる正月飾りや、リース風の飾りなどを作りました。

中には毎年参加している方もいて、慣れた手つきで作る「手作り」の正月飾りで迎える新年は気分も格別だ」と話していただきました。これからも出来るだけ講座開催を継続していきたいと考えています。

【館報編集委員 青木 敏和】

